

大人

ほき
めたるえ

「校訓とともに」

じぶんから みんなと いっしょうけんめい

子ども

毎日
おみやげ

長崎市立外海黒崎小学校
令和6年度学校だより
令和6年7月3日(水)
校長 溝川 浩

～梅雨まっさかり～

梅雨入り以降、運動場で遊ぶ児童の姿を見ておりませんでした。水たまりの運動場では、雑草が勢いよく伸び始めました。昨日からようやく晴れ間が・・・近々気合で草刈りを頑張ります。7月は、1学期通知票作成に向け、テストや成績処理で慌ただしくなるものですが、通知票2期制を始めた今年度、全学級でじっくりと授業を進める様子が見られます。外での活動がなかなかできない梅雨時ですが、涼しい教室で充実した学びができるよう、担任が工夫し授業を進める毎日です。登校を毎日しっかりと支えてくださる保護者の皆様に、感謝申し上げます。

最近の記事「民間企業が定年の再延長」から思うこと

企業では10年前より定年の延長や廃止が進んでいます。来年度からは、企業は希望者に対し、65歳まで雇用機会を確保しなければなりません。そのような中、最近の記事に、ある民間企業が3年後に定年を65歳から70歳に延長する方向との掲載がありました。この動きが国内で広がれば、今の青少年は、70歳定年の社会で働くこととなります。

承知のとおり、これまでの終身雇用、年功序列の職場文化はいずれなくなり、転職、退職→大学→就職、能力主義、リモートワーク、在宅ワーク、ダイバーシティ(多様性)の企業が一般化していきます。海外の国では既にそうです。

将来そういった文化で生きる今の子どもには、社会で生き抜く力の基礎となる

- ①自分で何とかする力(自己決定力、問題解決能力)
- ②人と関わる力(コミュニケーション能力、交渉力、対人スキル、語学力)
- ③PCやネットを技術的かつ道徳的に操る力(ICTスキル、ICTリテラシー)

を身につけることが一層不可欠となります。

よく聞く「とりあえず〇〇高校」「大学に入れば安泰」の考えは通用しなくなり、何を学び身につけたかで採用の可否を決める企業が増えているそうです。

定年が更に伸びる未来の社会において、我が子が社会で活躍し貢献し続けていくうえでも、**学校と家庭における教育は責任重大と思っています。**

10～15年後、子どもたちが大人になり、今度は自分が親を支え、家族や地域を大切に作る人格を備えていることが、私の願いです。

大人が子どもに与え残せるものは、愛情と知恵であり、先行き不透明な時代と言われる今だからこそ、生き抜く力の基礎①②③を愛情込めて教えていけたらと思います。

しかし、70歳定年を聞くことになるとは・・・と、複雑な気持ちになります。

地域とともにある学校(紹介)

★土曜授業に来校の皆様
六月二十九日(土)午前には、五十人の来校がありました。保護者の中には、ご両親で来校された方もいらっしゃいました。加えて卒業生の姿も三人四人。とても嬉しかったです。地域からも三名の方に来校いただき、心よりお礼申し上げます。

最後のプログラム「引渡訓練」では、今年は大雨等に
おける学校の保護者引渡を想定して訓練を行い、全保
護者への引渡が約二十分で完了しました。このたびは、六月
三日、長崎新聞の掲載されました。このたびは、六月
三十日、長崎新聞の先生に重ねてお礼申し上げます。

外海黒崎小 いまとこれから

★保護者面談よろしくお願ひいたします 7月2週目～

今年より夏休み前に実施し、1学期の学びの成果、夏休みの課題について共通理解ができればと思います。通知票渡し1回減った分、中身の濃い面談になるよう準備中です。お世話になります。

★水泳学習の実施、準備について

梅雨の時期でもあり、荒天時に中止した分を後日実施するよう日程を調整しながら授業を計画中。1回1回がとても大切な時間です。体調を整え、授業に参加できるようご支援願ひます。

★子どもを守るネットワークパトロール 7/17(水)15:00～

児童と同伴で下校しながら危険な場所等の確認をします。学校運営協議会委員に参加を呼び掛ける予定です。

★育友会による交通立哨 7/16(火)～19(金)

今季もよろしくお願ひします。通学路に立ってくださるだけでも子どもたちは安全・安心です。

★1学期終業日 7/19(金)

1学期の通知票渡しはありませんが、終業式、夏休み前の事前指導をしっかりと行います。

★夏休み登校日 8/9(金)

長崎で育つ子どもにとって大切な学びの日です。この日は登校させ、平和を願ひ行動できる心が育まれるようご支援願ひます。なお、同日、6年児童2人が平和祈念式典に出席します(教頭引率)。

本校 R6 重点取組[学校日より発行の都度、取組の具体について記載していきます]

[体力]そとめ体操に取り組みませ、筋力・柔軟性・リズム感を鍛えます。

行事の準備に振り回されず、日々の授業に力を注ぎ、宿題を課して家庭学習を補います。

杉山師匠の教えを受け、3・4年生が米作りを実施中。皆、意欲的です。

ふるさと教育をとおして自分の町・家族・学校を語り自慢できる心と力を育てる

学力調査(4月、12月)で前回実績を上回る

学校評価でわかった課題「ルール・マナー」「家庭学習」「体力向上」の改善

[学校教育目標]

校訓「じぶんから みんなと いっしょうけんめい」の具現化をとおして、社会を生き抜く力を身につけた子どもを育成する。

問題文にじっくり向かわせる学級もあります。とにかく読む量の確保です。

鉛筆の正しい持ち方、正しい書く姿勢の習慣化

大学体験を契機に自分の生き方について思いや考えを深める

本校の慢性的な課題「書く力」「話す力」「話し合う力」が向上する取組

指導教員の言葉かけ、管理職の授業観察をとおして、意識化と習慣化を促しています。

鉛筆の握り方を意識する子が増えてまいりました。ノートを斜めに置き背中をねじり気味に書く子が数名。ご自宅でも確認ください。

各学級で担任が授業ルールや宿題の在り方を示し、継続して取り組ませています。

ノートやプリントにとにかく書かせています。はじめは「質」より「量」で。段階的に「文字表記」「文法」「作文」などレベルを上げて書かせてきます。

夏休みは子どもが最も成長する時間 今から準備を！

大人は皆経験した夏休み。私の夏休みの思い出ベスト3⇒①父と一緒に海でミナ取り②家族でそうめん流し③夏休み最終日に泣きながら宿題と格闘 今でも印象強く憶えており時に懐かしみます。

実質、夏休みは、子どもにとって自由を手に入れた大切なシーズン。ということは、自由と引き換えに、自分の生活に責任を持たなければいけないということです。24時間すべて自由を与えることはできませんが、昼間の生活については一定の責任を課して生活させ、成長を促してほしいと思います。

親が我が子に自由を与え責任を課するためには、日ごろから徹底して躾けることが肝要。「早寝早起き朝ごはん」はじめ、学校が発信してきた生活の在り方や学び方(家庭学習の手引き参照)、更にはご家庭独自の方針(例：ウォーキング、ご飯を炊く、食器の片づけ、洗濯もの、玄関掃除など)を再確認のうえ、自分のことは自分でする習慣を身につけさせたいうえで、夏休みを迎えさせてください。親と約束した責任を果たせなかったらペナルティを課す(ゲーム・スマホ禁止など 体罰は×)など、ルールの中で正しく生きるための規範意識や道徳を徹底して教えることは大事です。小学校6年間しかできません。中学生になったら効果が見込めません。心身ともに最も成長する夏休みを前に、我が子の生活の在り方について再確認と指導をお願いいたします。そして、「じぶんから 家族と いっしょうけんめい」で素敵な夏休みを過ごせることを願います。